

# 住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第2051号 2011年01月24日(月)

## 《 how to merge 》

今年のマーケットの一つの大きな関心事項は、途上国はインフレ、日本を含む先進国はデフレの状況が、どちらに引き寄せられる形でマージするのかという問題だろう。無論これは今年一年で形が見えるとは言い切れない問題で、長い年月がかかる。何せこの二つの世界は物価の発射台が違いすぎる。途上国の物価や賃金の水準が先進国並になるには長い時間がかかる。ということは、この間、先進国は途上国から物価や賃金の引き下げ圧力を受け続けるということだ。実際に日本では値段が下がっているものも多い。賃金への下方圧力も強烈だ。

しかし、この問題を考える上で今進行している食糧関連商品の世界的な価格高騰は一つの重要なポイントになると考える。先週末を見ても、コーヒー、綿花、ココアなどの先物相場が急騰して、同じ商品相場の中でも高値から反落基調にある原油や金相場との違いを見せつけた。小麦、トウモロコシ、大豆など穀物も高い。食糧が持つ非常に大きな特徴は、先進国であれ途上国であれ、食糧輸入国は買わなくてはいけないということだ。国民に一定レベルの食糧を与えるためには、そうせざるを得ない。国内で出来ないから輸入しているわけで、どこかの国が「買い負け」する状態が続くと、その国では一気に社会情勢や政治情勢が悪くなる危険性がある。

今の世界的な食糧先物価格の上昇には、いくつかの要因が指摘されている。

1. そもそも供給地、例えばオーストラリア、ブラジル、コロンビアなど主に熱帯・南半球の国での洪水、その逆にいくつかの北半球（ロシアなど）生産地での乾燥した気候で供給の限界が指摘される
2. これに対して、主に中国やインドなど広範な途上国ではそもそも人口の増加もあって需要が高まっている
3. 加えて、これらの国で食習慣の変化から肉を食べる割合が増えていて、肉は何であれ大量の飼料穀物を使って初めて出来るだけに、穀物の需給逼迫に拍車をかけている
4. 原油や金などで相場を押し上げてきた「世界的な超金融緩和で市中に出回った資金」が回遊して、食糧その他アグリ系の先物相場に足の速い資金として流入している

など。歴史的にもアグリ関係の先物価格の変動は激しく、今回の相場上昇も「一時的」との見方もある。しかし、商品相場を長く見ていた専門家の中にこそ、「今回は違う」との見方が徐々に増えているようだ。需給の動きを見る限り、「今回の値上げは続く」と見ている専門家が多い。筆者もそう思う。当然天井はあるし調整局面はあると思うが、当面は上値を追うだろう。

食糧品が「買わなくて済む」ものではないという特色がある商品だとすると、この値上がりは途上国、先進国両方で「価格上昇」「物価上昇」の圧力を持つものだと理解することが出来る。つまりインフレ圧力だ。筆者は現在のアグリ先物相場の上昇が、可能性として先進国を含む世界的なインフレの目になる可能性を示唆しているとする。物価上昇圧力を受けやすいのは明らかに途上国だが、先進国でもインフレの局地戦に発展する危険性があると思う。

さらにその政治的な意味合いを考えると、食糧品価格の世界的な上昇は、主に貧困層家庭の間で「エンゲル係数の上昇」をもたらし、それが限界を超えると社会的騒動、デモ・スト、さらには反政府運動へと発展しかねない。世界的に労働賃金は抑えられていて、さらに世界中で失業率は高い。

この週末には例えば読売新聞のサイトには、「イエメン、エジプト…アラブで反政府デモ拡大」という記事があった。「23年に及んだ独裁政権が崩壊したチュニジアの政変に触発され、周辺のアラブ諸国で反政府デモが拡大している」という書き出しの記事によると、当初は物価高などへの抗議を示すために始まったがデモだが、「次第に強権的な政権の打倒を公然と訴える動きに変わり始めている」とし、具体的にはイエメン、アルジェリア、エジプトでデモが行われたか、デモの呼びかけが行われているという。

つまり、今の世界的な食糧品物価の上昇の恐れは、世界的なインフレの目になる可能性があるということと、世界的な政情不安の芽になる危険性があるということだ。

### 《 A State of the Union Preview 》

実際の市場を見ると、為替市場は相変わらず静かな展開が続いている。これは最初に書いた穀物相場の上げ基調は別にして、金属やエネルギーなどの商品市況には一服感が出るなど、世界的に資本の行方が定まらないことが一つの要因である。

年初は株価が世界的に強くて、「今年は資金が株式市場に向かう」との見方も出たが、それも途上国での金利上昇の動きや先進国経済に目立った改善持続の動きが出ないことからやや息切れ。その後は商品市場が資金を集めていると思われる場面もあったが、先週末くらいから農産物以外の原油や金市況にも息切れの兆しが見えた。日経ヴェリタスの世界株価地図を見ると、先週の株価は世界的に下げ基調だった。

先週の市場を見ると、アメリカの住宅販売動向などを示す指標が市場を動かした。今週もこうした状況が続くだろうが、その他の季節的な要因もある。例えば毎年のことだが、

一年の今の時期にはアメリカ大統領の一般教書演説がある。今年のオバマ大統領の演説は火曜日に予定されていて、普段の年には大統領が何を言うかについては事前に漏れてこないが、今回は大統領が民主党の一部の活動家に対して「一般教書演説プレビュー」をビデオ・メッセージとして送っている。それによると、同大統領は火曜日の演説で

1. 職の創出、アメリカの競争力アップ
2. 技術革新促進への決意、国家債務引き下げの方針、共和党との議会での協力
3. 政策のポイントを「混乱からの経済安定」から「長期的な成長と職の創出」に

などを強調する見通し。日本も明らかにした法人税の引き下げに方針にもオバマ政権は乗り気と言われ、今までの「反企業」の姿勢をむしろ「親企業」に向ける方針という。再選にポイントを置いた戦略と言える。オバマ大統領は「労働者の教育水準の引き上げ」「R&Dへの投資」「高速道路・空港・高速通信網など社会インフラへの投資」などを具体的に述べる見通しという。

---

今週の主な予定は以下の通り。

- |          |   |
|----------|---|
| 1月24日（月） | 日銀政策決定会合（25日まで）<br>通常国会召集へ  |
| 1月25日（火） | 白川日銀総裁記者会見<br>米FOMC（26日まで）<br>米1月S&Pケースシラー住宅価格指数<br>米1月コンファレンスボード消費者信頼感指数<br>米11月住宅価格指数<br>インド金融政策決定会合<br>ブラジル休場                |
| 1月26日（水） | 日銀金融経済月報<br>米12月新築住宅販売件数<br>米一般教書演説<br>マックワールド開催（29日まで）<br>イタリア国債入札<br>世界経済フォーラム年次総会（30日まで／ダボス）<br>オーストラリア、インド休場<br>韓国10～12月GDP |
| 1月27日（木） | 11月企業向けサービス価格指数<br>米12月耐久財受注<br>米12月シカゴ連銀全米活動指数   |

ユーロ圏 1 月景況感指数

イタリア国債入札

NZ 金融政策決定会合

1 月 28 日 (金)

1 月都区部・1 2 月全国消費者物価

1 2 月労働力調査／家計調査／商業販売統計

米 10～12 GDP (速報)

### 《 have a nice week 》

相変わらず寒い日々ですが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。日曜日の朝に起きたら、コンピューターの画面上では「マイナス 1 度」を示していました。こりゃ寒いと思ったら、日中は徐々に暖かくなった。青山などには多くの人が出ていたようです。

ところで iphone や ipad で面白い記事を見つけても、今までは直接プリントする体制が出来ていなかったの、この 1～2 週間にようやく体制を作り上げました。面倒じゃないですか。iphone や ipad に「あ、これはしょうがないからプリントしておこう」と思うデータやファイルなどがある。写真などもそうです。それをいちいち PC 経由では面倒。逆に iphone の写真を PC 経由でプリントしようとしたら、大きな手間になる。そこで、ずっと無線 LAN 機能を使っの iphone や ipad からの「直接プリント」を考えていたのですが、今から振り返るといろいろな思い違いもあり、ちょっと時間がかかっていた。いろいろ出張もありましたから。

私のプリンターはエプソンの「EP-902A」で無線 LAN 対応であることは以前から、とうか買ったときから知っていた。しかしずっとメインの PC に取り付けて有線 LAN にプリンターを繋げていた過去の経緯（古いタイプのプリンターの時から）もあって、今までは何かというとメインの PC 経由だった。プリントするとき。それを一ヶ月前くらいから、一台だけあるデスクトップ（メイン）以外は、全 PC に対して無線 LAN で動くように設定した。プリンターのサイドにも無線 LAN を有効にするコマンドを入れたと思う。

最初、iphone や ipad は何もしなくても、プリンターの IP アドレスだけで認識してくれると思っていたのです。しかしどうもおかしい。お互いに無線は出している筈（ラップトップとは出来ていましたから）なのに、ipad iphone のサイドからは「プリンターは検出できず」とのメッセージ。ちょっと調べたら、アプリを入れなければならないと気が付いた。そこで入れたのが、よく考えもせず無料で EPSON iPRINT というのがあったから、「これだろ」と思って入れた。というのも、その下にあった ePRINT というのが 350 円で有料で、まさかプリントアプリでお金を取らないだろうと思ったからです。こちらの方が写真を綺麗にプリントするソフトかと思った。

しかし iphone でやってみたら、当然ですが写真しかプリントできない。「これはおかしい」というところで、昨年末からの海外出張や国内ロケ続きになったのです。で今日、もう一回このサイトで各アプリの役割を見たら、なんと有料の ePRINT (Microtech 社製)

が写真を含めてウェブサイトなど（連絡帳やカレンダーなどを含めて）をプリントするアプリだと気が付いた。で、しょうがないのでこれを入れて、iphone と ipad の共通にして、このアプリを動かそうとしたが、まだ動かない。どうしてかなと見たら、「プリンターの追加」という項目があって、それを設定したらようやく「EP-902A」を認識した。でもそれだけではダメで、それをデフォルトに指定しないとイケない。結構面倒だったんです。慣れていないせいか、最後は到達するが、iphone や ipad の設定は慣れ親しんだ windows とはやはりちょっと違う。

しかしまあ時間的にはそれほどかかっていない。気分的にです。しばらく使ったら面白い事に気が付いた。例えば最初から新聞社のサイトに行ってそのサイトをプリントしようとしても、プリンターを認識しないケースがある。デフォルトを設定しておいてもです。しかし ePRINT のアプリから入って、そこでウェブを開いて、見て、これは面白いからプリントしようとする、今度は楽にプリントできる。つまり印刷を前提にウェブを見るときには、このアプリから入ってそこでサイトを開いた方が便利と言うことです。

あとこの350円という有料のアプリには、「カメラ」とか「フォトカレンダー」「クリップボード」など面白い機能が入っている。「カメラ」は撮った写真をそのままプリントできるやつ、「フォトカレンダー」は手持ちの写真でカレンダーが作れるやつ、「クリップボード」はその名の通り、クリップボードの中味をそのままプリントできる。今日初めて入れましたが、なかなか面白い機能が入っている。

それでは皆様には良い一週間を。

*《当「ニュース」は住信基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》*